

重症心身障害



主な特性

重症心身障害は、重度の肢体不自由と重度の知的障害などが重複している状態をいいます。ほとんど寝たままでは自力では起き上がれない状態が多く、移動、食事、排泄、入浴など、日常のさまざまな場面で介助者による援助が必要です。訪問看護サービスや福祉サービス等を利用しながら、自宅や専門施設で生活しています。

言語によるコミュニケーションは困難ですが、笑顔などの表情やちょっとした動作で気持ちを表しています。

食形態は、きざみ食、ミキサー食、ペースト食などが用いられます。咀嚼嚥下が困難な場合は、鼻から胃に直接注入する管を付けたりします。

呼吸が上手くできないため人工呼吸器で命を守っている人や、視力や聴力が不自由な人もいます。

医療的ケアが必要な人は、外出が制限されます。

心身機能に弱い面があっても、適切な支援でその人らしい普通の生活がおくれます。

必要な配慮

- 風邪などの感染は重篤な病気を招くことがあります。病気をうつさないように接しましょう。
- 車椅子やストレッチャーでの移動に支援が必要な様子が見られたら介護者に声をかけましょう。

